

第12回国立市健康危機管理対策本部会議記録

日時	令和3年2月18日（木）午後4時00分から午後4時50分
場所	市議会委員会室
出席者	永見市長、竹内副市長、是松教育長、藤崎行政管理部長、松葉子ども家庭部長、大川健康福祉部長、黒澤生活環境部長（健康福祉部ワクチン接種対策室長）、門倉都市整備部長、江村都市整備部参事、矢吹会計管理者、橋本教育次長、雨宮生涯学習・文化・スポーツ推進担当部長、内藤議世事務局長、佐伯オンブズマン事務局長、玉江選挙管理委員会事務局長、田代監査委員事務局長、篠島政策経営課長（政策経営部長代理） 立川消防署：玄海予防課長、深沢国立出張所長
付議事項	<p>（1）都内・市内の感染状況について</p> <p>①東京都の感染状況について ・東京都モニタリング会議資料（資料No.1）</p> <p>②国立市の感染状況について ・東京都から提供される国立市の患者数・患者情報のまとめ（資料No.2） ・国立市医師会長コメント（資料No.3）</p> <p>（2）自宅療養者の支援について</p> <p>①自宅待機者等生活支援事業利用状況（資料：個人情報のため削除）</p> <p>②国立市保健センターパルスオキシメーター貸与事業実施要領（資料No.4）</p> <p>（3）新型コロナウイルスワクチン接種の準備状況について（資料No.5）</p> <p>（4）その他</p> <p>①新型コロナウイルス感染症の市民生活への影響について（参考資料：未定稿のため削除）</p> <p>②立川消防署からの情報提供</p> <p>（5）本部長指示及び対応方針について</p>
主な内容	<p>（進行：大川健康福祉部長）</p> <p>1 本部長あいさつ（永見市長）</p> <p>国立市内でも、高齢者や基礎疾患のある方に、速やかにワクチン接種を始めなければならない。本部長及び職員は、自らが罹患することのないように、気を緩めることなく、倫理観を高く持ち、臨んでいただきたい。</p>
	<p>2 議 題</p> <p>（1）都内・市内の感染状況について（事務局：橋本健康づくり担当課長）</p> <p>① 東京都の感染状況について 東京都モニタリング会議資料（2月10日開催分） 資料No.1のとおり。</p> <p>②国立市の感染状況について ア 東京都から提供される国立市の患者数・患者情報 資料No.2のとおり。 イ 国立市医師会長 春日井先生のコメント（事務局：加藤健康増進課長補佐） 資料No.3のとおり。</p>
	<p>（2）自宅療養者の支援について（事務局：橋本健康づくり担当課長）</p> <p>①自宅療養者等生活支援事業利用状況 資料（個人情報のため削除）をもとに、利用状況について確認。</p> <p>②国立市保健センターパルスオキシメーター貸与事業実施要領 資料No.4のとおり。 東京都は陽性患者のみの貸出事業であるが、国立市としては濃厚接触者の方にも貸出す方針。医療機関等と連携して事業を進めていきたい。機器の使い方や数値の見方等については、十分に説明対応する。</p>

(3) 新型コロナウイルスワクチン接種の準備状況について（黒澤ワクチン接種対策室長）

資料No.5のとおり。

市民からの問合せが少しずつ増えている状況。医療従事者への先行接種が始まっている。体育館での集団接種と、市医師会の協力のもと、市内医療機関での接種について意向調査をしている。

(4) その他

①新型コロナウイルス感染症の市民生活への影響について

参考資料（未定稿のため削除）をもとに、各部長から報告。

②立川消防署からの情報提供（立川消防署玄海予防課長）

都内で感染者数が急増し、緊急事態宣言が発令された先月の1月は、新型コロナウイルス陽性の傷病者と、感染疑いの傷病者の搬送件数は、国立出張所を含む立川消防署の救急隊5隊の合計が41件だった。昨年12月と比較すると、12月は23件であり、1月は約2倍の増加となる。本年2月については、昨日17日現在で14件であり、1月と比較すると減少傾向にある。

立川消防署は市民に対する行政サービスの質を低下させることなく、職場及び災害・救急現場での感染症対策に努めてまいりたい。

(5) 本部長指示及び対応方針について

柔軟かつ的確な対応を進めていくことを、この場で確認いたしたい。新型コロナウイルス感染症対策に関わる幹部職員が欠けると、体制維持が困難になる。今後始まる議会についても、その対応を的確に行う必要があるため、それぞれ健康には十分注意していただきたい。市民が安心して過ごせる国立市をつくるという目的意識をもって、対応していただきたい。

以上